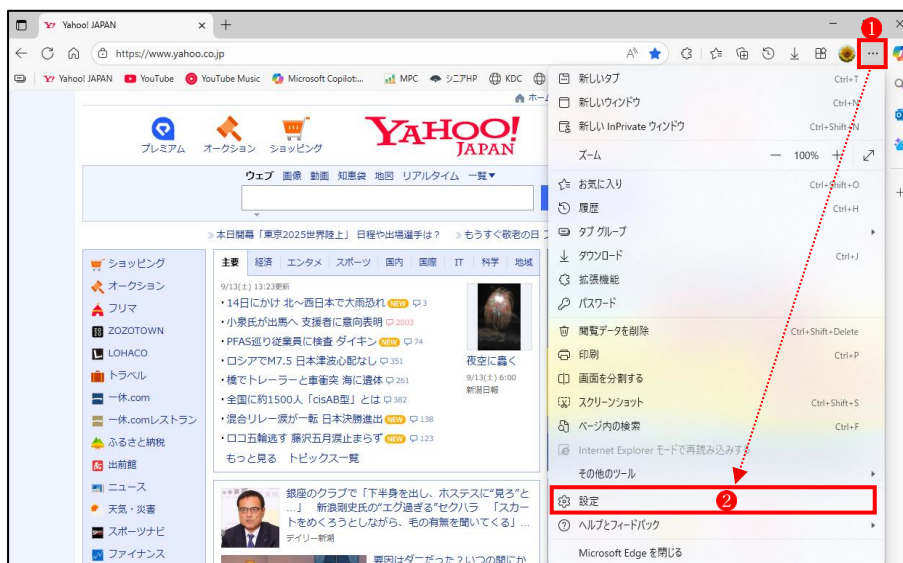


Microsoft Edge 「設定」 (new)

Microsoft Edge は豊富な機能を備えていて、パソコンに慣れている方にはとても使いごたえのあるブラウザといえますが、それゆえに初心者にとってはどう使えばよいのか戸惑うことも多いと思います。ここでは、Microsoft Edge をパソコン初心者が使いやすいように初期設定を行います。

Microsoft Edge の設定は、初期画面で「設定など」①をクリックし、メニューから「設定」②をクリックします。



すると、Microsoft Edge の設定画面③が開くので、ここで詳細な設定を行います。



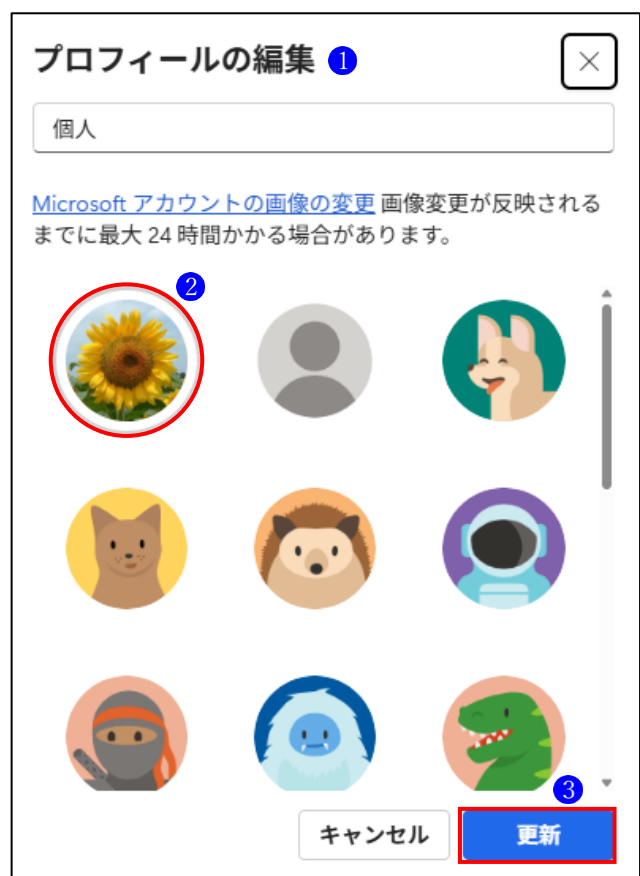
1 プロファイル

プロファイル^①には、Microsoft Edge にサインインしている Microsoft アカウント^②が表示されています。



(1) プロファイル画像の変更

プロファイル^②の右方にある鉛筆アイコン^③をクリックすると、「プロフィールの編集」ウィンドウ^①が開き、好みのアイコン^②を選択して、「更新」ボタン^③をクリックすると、プロフィールの画像を変更することができます。



(2) プロファイル設定

ここでは、特に設定を要する項目はありませんが、もし同一の Microsoft アカウントを使って複数のパソコンで Edge を使う場合は、「同期」④を開いて同期させたい項目をオンにしておくくと便利です。



2 外観

「外観」では、「テーマ」と「その他のデザイン設定」について説明します。

(1) テーマ

「外観」①をクリックすると、ブラウザの外観を「全体的な外観」②と「テーマ」③をそれぞれ選択（組み合わせ）して設定することができます。



- ① 「全体的な外観」では、「システム」、「ライト」、「ダーク」の中から選択します。



- ② 「テーマ」では、「配色テーマ」①と「画像のテーマ」②から、それぞれ選択します。
- 「配色テーマ」①では、ブラウザの外枠の色を設定することができます。色は下に並んでいる色③から選択できます。また、スポイト④のアイコンをクリックすると、他の色⑤を選択することもできます。



- ③ 「画像のテーマ」②では、新しいタブを開いたときに表示される背景画像を設定することができます。

「画像のテーマ」②をクリックすると、用意されているたくさんの画像⑥が表示され、好きな画像を設定することができます。また、ここで外枠の色⑦を変更することもできます。

*ここに表示されている背景は、「新しいタブ」をクリックしたときに表示されます。

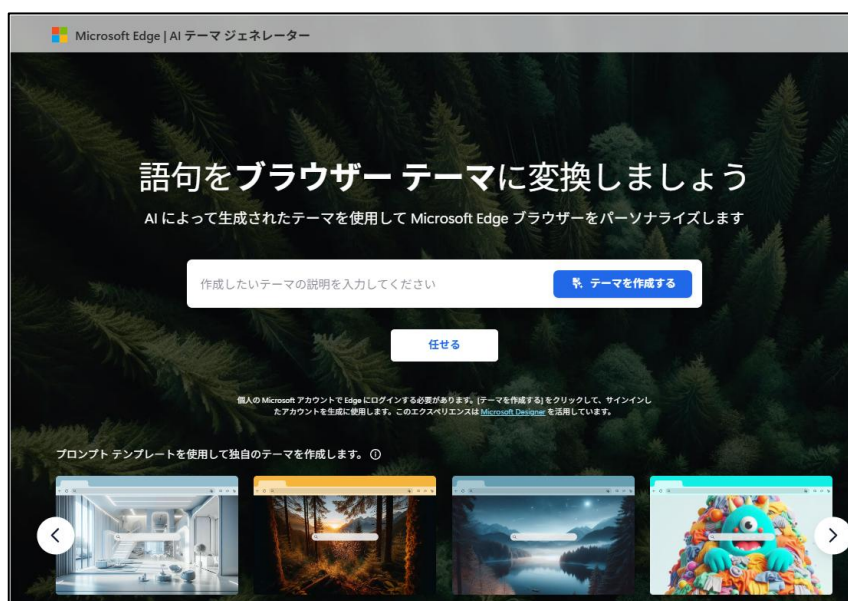


④ その他のテーマを探す

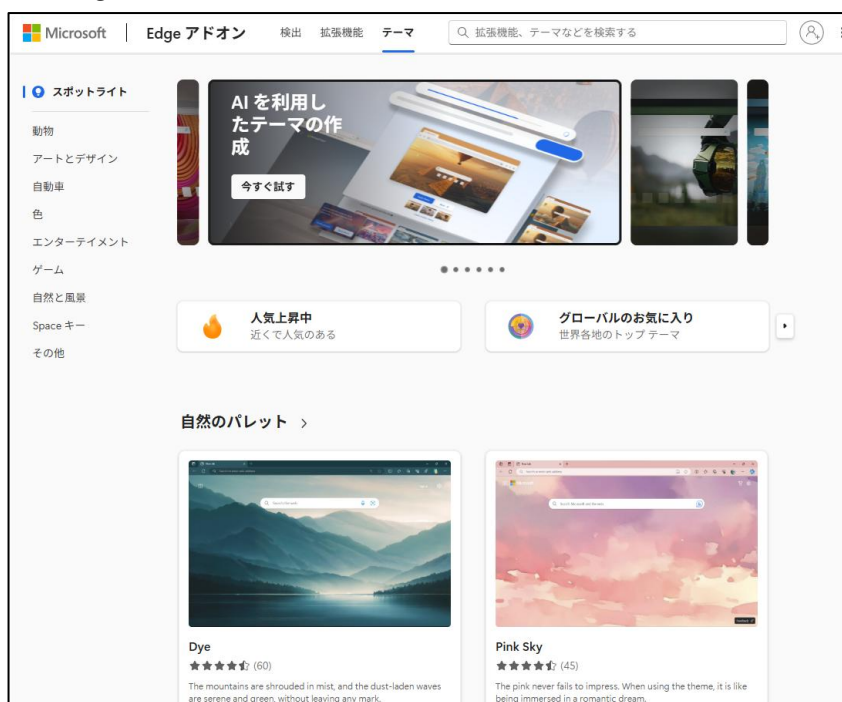
用意されたテーマのほかに、「AI テーマジェネレーター」^①を使って AI にテーマを作成させることや「Edge アドオンストアから、テーマをインストールする」^② こともできます。



① AI テーマジェネレーター



② Edge アドオン



(2) その他のデザイン設定

① ツールバー

「その他のデザイン設定」①で「ツールバー」②をクリックします。



次の画面になるので、下図のように設定します。

※青い項目はオン状態、白い項目はオフ状態です。四角の中は選択した内容です。



3 スタート、ホーム、新しいタブページ

① Microsoft Edge の起動時 ①

Microsoft Edge を最初に立ち上げたときに開くページを開く方法を設定できます。

ここでは、「Yahoo!JAPAN」のトップページを設定しましょう。

② ホームボタン ②

ツールバーに「ホーム」ボタンを表示するかどうかを設定できます。

ここでは、「新しいタブページ」を設定しましょう。

③ 新しいタブページ ③

「新しいタブページを事前に読み込む」をオンにしておきましょう。

このことにより、新しいタブページをクリックしたときに、ページが開くまでの時間が短くなります。



4 既定のブラウザー

「既定のブラウザー」では、Microsoft Edge を既定のブラウザーに設定しておきましょう。Microsoft Edge が既に「既定のブラウザー」になっている場合は、次のように表示されます。「既定に設定する」の文字がグレーになっていて、クリックできません。



もし、別のブラウザーが「既定のブラウザー」に設定されている場合は、次のように表示されているので、この場合は「既定に設定する」をクリックして、Microsoft Edge を「既定のブラウザー」に設定しましょう。



5 言語

- ① ここでは、ブラウザに表示する言語を設定します。

「優先する言語」①は、「日本語」②のみを設定しておきます。

※ 例えば英語も原語で表示させたい場合は、「言語の追加」③から「英語 (English)」を追加し、「日本語」の下 (④の位置) に配置します。



- ② 英語等のページを日本語に翻訳して表示したい場合は、「自分が読み取ることができない言語のページの翻訳を提案する」⑤に必ずチェックを入れておきましょう。

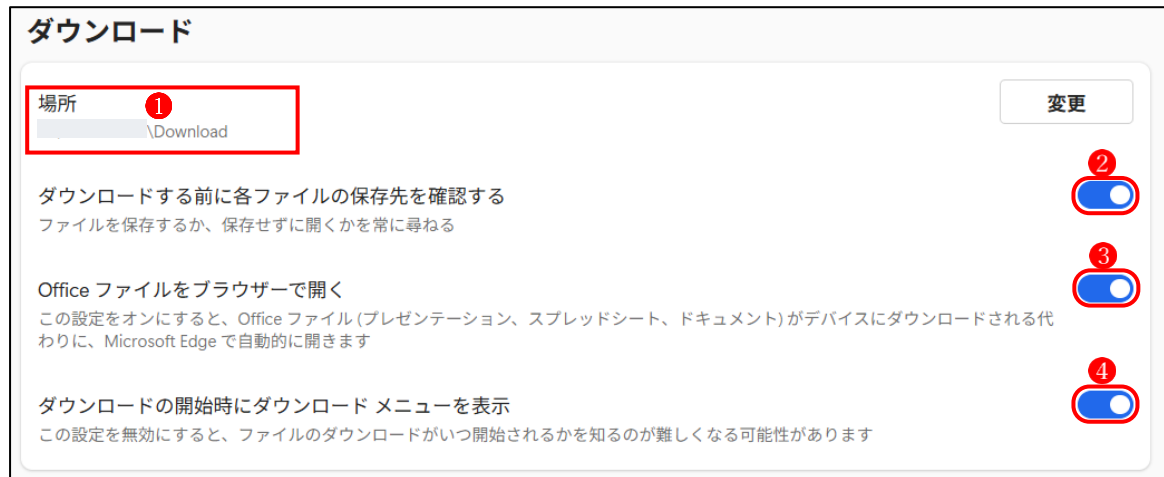
→すると、Web サイトにアクセスして日本語以外のページが表示された場合、Microsoft Edge が「このページを翻訳しますか？」と提案してくれます。

6 ダウンロード

ダウンロードに関する設定を行うことができます。

「場所」^①は、自分の PC のダウンロードフォルダ(Download)を指定します。

3つの項目(②③④)は、いずれもオンにしておきます。



7 パスワードとオートフィル

「パスワードとオートフィル」^①では、「Microsoft パスワード マネージャー」^②について、説明します。



(1) パスワードの機能

「パスワード」の機能は、Edge があなたのウェブサイトへのログイン情報（ユーザー名とパスワード）を自動的に記憶・管理してくれる機能です。

例えば、あるウェブサイトユーザー名やパスワードを入力してログインする際や、アクセス制限のあるサイトにサインインする際^①に、Edge から「パスワードを保存しますか？」^②と聞かれることがあります。

この時、提案に同意してログイン情報を保存すると、これらの情報が Microsoft アカウントに記憶・保存され、次回からは、このウェブサイトアクセスすると、自動でユーザー名やパスワードを入力してくれるという便利な機能です。

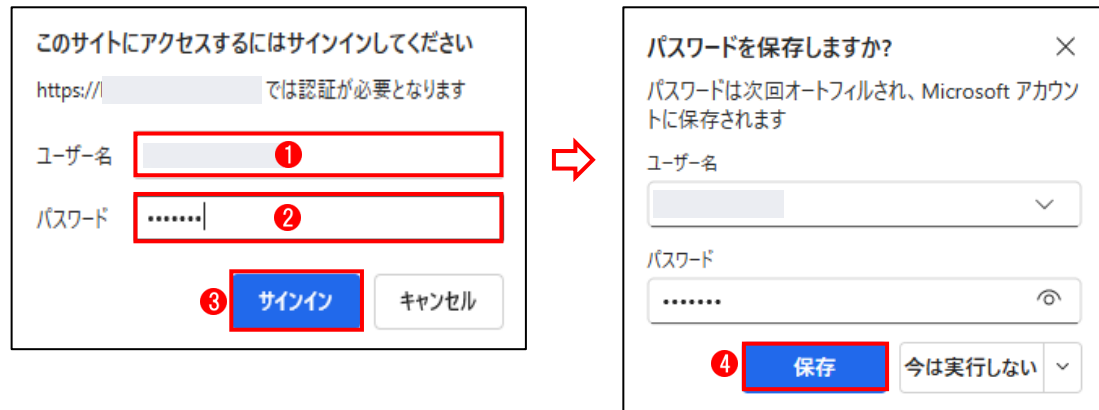
【事例】

あるサイトにサインインするために、ユーザー名①とパスワード②を入力します。

→「サインイン」③をクリックします。

→「パスワードを保存しますか？」と聞かれます。

→「保存」④をクリックします。



→これで、ユーザー名とパスワードが Microsoft アカウントに自動的に保存されます。

(2) パスワード機能を有効にするための事前設定

この便利な「パスワードの自動ログイン機能」を有効にするには、事前の設定が必要です。

- ① 「パスワードとオートフィル」の画面で「Microsoft パスワード マネージャー」①をクリックします。



- ② 「パスワードの保存を求める」をオン②にします。

- ③ 「その他の設定」の > ③をクリックします。



- ④ 詳細な設定画面になりますので、次のとおり④設定します。



→これで、ログイン（サインイン）の際に、「パスワードを保存しますか？」と聞いてくれるようになり、また、次回以降はパスワードを自動で入力してくれるようになります。

- (3) この「パスワード」では、Microsoft Edge に保存したユーザー情報やパスワードを、ウェブページごとに個別に確認や変更、削除をすることができます。

操作手順は、つぎのとおりです。

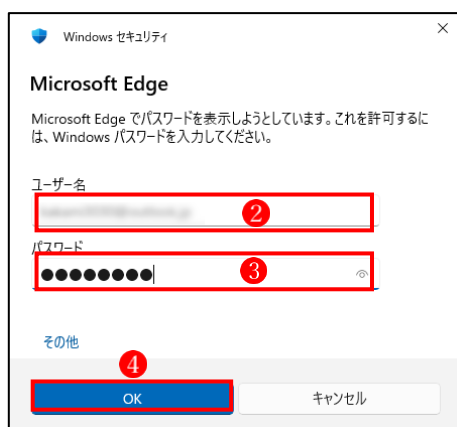
- ① 「〇個のサイトとアプリ」の項目に表示されているパスワードを確認や変更、削除したいウェブページをクリックします。

※ここでは例として、「amazon.co.jp」①をクリックします。

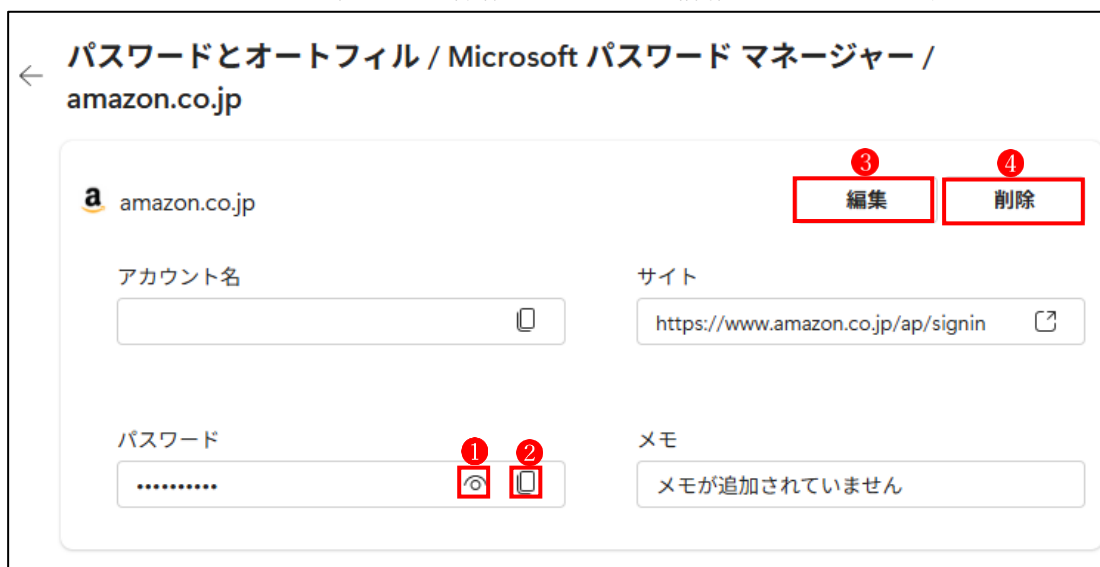


- ② 「Windows セキュリティ」が表示されます。

要求された Microsoft アカウントのユーザー名②とパスワード③を入力して「OK」④をクリックします。



- ③ ウェブページのログイン時に入力、保存したユーザー情報やパスワードが表示されます。



- ・パスワードの確認をしたい場合は「目のアイコン」①をクリックします。
- ・パスワードをコピーしたい場合は「コピーのアイコン」②をクリックします。
- ・ユーザー情報やパスワードの編集をしたい場合は「編集」③をクリックします
- ・ユーザー情報やパスワードの削除をしたい場合は「削除」④をクリックします。

8 プライバシー、検索、サービス

「プライバシー、検索、サービス」^①では、「閲覧データをクリア」^②と「検索されたエクスペリエンス」^③について説明します。



(1) 閲覧データをクリア

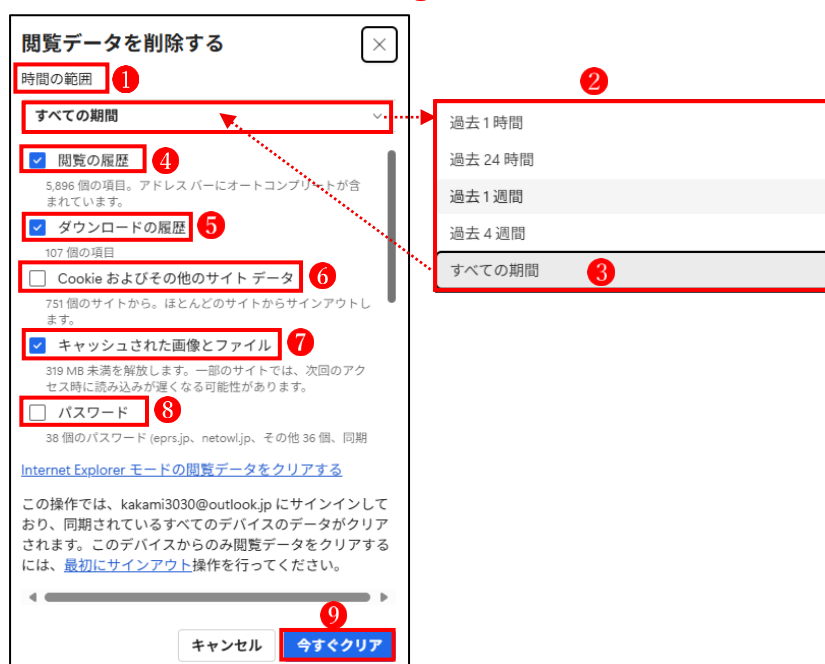
「閲覧データをクリア」では、現在サインインしているプロファイル（アカウント）から、履歴、パスワード、Cookieなどをクリアします。

- ① 上図で「閲覧データをクリア」をクリックします。



→「今すぐ閲覧データをクリア」の「クリアするデータの選択」^①をクリックします。

- ② 「閲覧データを削除する」のウィンドウが開きます。
- 「時間の範囲」①で、5つの選択肢②からデータを削除したい期間を選択します。
- ここでは、「すべての機関」③を選択しました。



- 次に、削除したいデータを選択します。
- ここでは、「閲覧の履歴」④、「ダウンロードの履歴」⑤、「キャッシュされた画像とファイル」⑦の3項目を選択しました。
- ※ 「Cookie およびその他のサイトデータ」⑥と「パスワード」⑧は、特に削除したい理由がある場合を除いては削除しないようにします。
- 「今すぐクリア」⑨をクリックします。
- 選択したデータが削除されます。

【補足説明】「キャッシュされた画像とファイル」⑦について

- ① キャッシュの仕組みは？
- キャッシュの仕組みは、以下のとおりです。
- 1 ユーザーが Web ページを閲覧すると、ページ内の情報をダウンロードしてブラウザに保存します。
 - 2 再度ユーザーが同じ Web ページを閲覧したとき、ブラウザに保存した情報を呼び出して表示します。→この 2 回目以降の閲覧時には、ページ情報をダウンロードせず、以前に保存した情報を呼び出すため、ページの表示スピードが上がります。
- ② キャッシュを削除すると何が消える？
- キャッシュを削除すると、ブラウザに一時的に保存されている Web ページの画像やテキストが消えます。なお、ログイン情報 (ID とパスワード) や、各 Web ページの設定などはキャッシュに含まれないため消えません。また、ログイン情報などは Cookie で管理しています。そのため、Cookie を削除するとログイン情報などが消えます。

③ キャッシュを削除するのはどのような場合か？

キャッシュは、端末の動作が重くなったとき、ストレージの空き容量が少なくなったとき、または Web サイトの表示がおかしいときに削除します。

④ キャッシュが原因で表示がおかしくなる具体的なケース

- ・ Web ページのレイアウトが崩れる → 画像が表示されない、文字が重なっている、ボタンが機能しないなど
- ・ 更新したはずの内容が反映されない → サイト管理者が修正したのに、古い情報が表示され続ける (※よくある事例です。)
- ・ ログインできない・エラーが出る → 正しく認証できない

⑤ キャッシュ削除で改善されること

- ・ 表示が正常に戻る (画像・レイアウト・リンクなど)
- ・ 最新情報が反映される
- ・ 動作が軽くなる
- ・ 不具合の原因を切り分けやすくなる

9 その他の設定項目

上記以外の設定項目は、特に必要のある場合を除き、デフォルトのままで OK です。